

公表:令和6年3月1日

事業所名 児童デイサービス ドリーム前田

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			ねらいや、お子さんの人数、年齢等に応じて活動内容や部屋を配慮し療育を行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			お子さんの発達段階、年齢に応じて、職員の人数を調整している。個別対応の必要性に応じて職員を多く配置している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			階段には手すり、滑り止めを設置。また、視覚提示するなどお子さんに合わせて環境設定を行っている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			室内清掃、玩具、椅子、机などの消毒を行っている。換気を行ったり、空気清浄機を設置し、おこさんが快適に過ごせるようにしている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員間で毎日の申し送り、振り返りを行っている。話し合いの中で関わり方の統一や、活動の目標達成度、改善点などを話し合っている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を踏まえ、保護者からの要望に沿えるよう、業務改善を行っている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果をホームページで公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後、検討していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修を毎年設けている。研修と実践の中で職員の資質向上を図っている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			支援計画の見直しを行う時期に保護者と要望等を共有している。アセスメントツールを用いて、支援計画の作成を行っている。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用し、お子さんの発達段階を把握し、支援を行っている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに則した支援項目を設定し、保護者とのやり取りや、保育園などの各関係機関と連携し、目標を共有し支援を行っている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に基づいて療育内容を検討し、職員間で統一した関わりができるように努めている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員が活動プログラムを作成し、会議等で職員間で共有し療育を行っている。	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動内容は児発管が設定、確認し、職員間で意見を出し合いながら行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		お子さんの発達に合わせた個別活動を行っている。個別活動で個々のスキルを上げ、集団活動の中で力を発揮できるように組み合わせ、支援計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前には打ち合わせを行い、支援内容や職員の役割分担について確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後には振り返りを行っている。お子さんの関わりや療育内容について検討し、職員間で関わりを統一している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録は必ず残し、改善に繋げている。また、保護者からの連絡事項等も残すようにしている。	
	⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		必要に応じてモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管や療育担当職員が参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターや区役所職員、児童相談所等と連携し、情報共有を行い支援を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		サポートファイルで情報共有を行っている。保護者の希望に応じ、電話や見学等でやり取りを行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		サポートファイルで情報共有を行っている。保護者の希望に応じ、電話や見学等でやり取りを行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターと定期的に情報交換を行ったり、機関支援の助言を受け、療育に活かしている。また、児童発達支援センター主催の研修にも参加している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		地域行事に参加をしたり公園等で機会を設けていく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			必要に応じて参加をしている。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者の方と連絡ノート、送迎時、電話、面談等でお子さんの様子を伝えたり、課題について情報交換を行い、共通理解を図っている。

保護者への説明責任等	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		保護者の困り感や育児負担軽減に繋がるよう、必要に応じて助言を行っている。	
	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時には必ず説明をしている。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画作成後、保護者と面談や電話にて支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から悩みや困り感を感じられた時には傾聴し助言を行っている。また、自宅、事業所と統一した支援ができるよう、支援内容を検討している。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		茶話会を実施している。また就学前相談も教育相談員を招いて実施している。	
	㉕	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		申入れがあった際には思いをくみ取り、迅速に対応できるように努めている。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ドリーム通信やブログ、インスタ等で定期的に発信している。	
	㉗	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の文書などの取り扱いには十分に注意している。	
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さんや保護者の気持ちに寄り添い、共感しながら支援を行っている。	
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域の活動に参加したり、訪問行事等を取り入れていく。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを作成し、職員に周知している。月に一度、避難訓練を実施し職員間で振り返りを行っている。保護者の方々には、ドリーム通信やブログ等を通して周知している。	
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1度、想定される災害に対する避難訓練を行っている。	
	㉜	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時には必ず細かな成育歴を聞き取り、その後に発生したものに関しては報告してもらうようし、職員に周知している。	
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○		契約時にはアレルギーの有無を確認している。契約後に発症したアレルギーがでた場合には都度、報告をしてもらっている。全職員に周知し、掲示している。	
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例をミーティングで報告し、事業所内で共有し再発防止に努めている。	
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し、研修や、虐待防止通信を発行している。チェックリストで関わり方の確認も行っている。	
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		支援計画にてやむを得ない身体拘束について記載し、保護者に説明し同意を得ている。また、拘束しない対応方法を常に検討している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 令和6年3月1日

事業所名 児童デイサービス ドリーム前田

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数やレベルに応じて活動内容や部屋を配慮し療育を行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			お子さんの発達段階や、人数によって配置している。個別対応が必要なお子さんには職員を増員して対応している。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			階段には手すり、滑り止めを設置している。お子さんの合わせて視覚提示をして環境設定を行っている。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎回申し送りを行うことで、目標設定を職員間で共有している。必要事項は翌日に職員間で共有・連絡ノートにて全職員が把握できるようにしている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			集計結果を踏まえ、保護者様からの要望に沿えるよう、業務改善している。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的にアンケートを実施し、集計結果をホームページで公開している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修を毎年設けている。研修と実践の中で職員の資質向上を図っている。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画の見直しを行う時期に保護者と要望等を共有している。アセスメントツールを用いて、支援計画の作成を行っている。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用し、子どもの状況、特性を把握し、支援を行っている。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で必要な療育プログラムを相談し合い、立案をしている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員間で活動プログラムが固定化しないように意見を出し合い、活動を立案している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みや外出行事や、季節の行事、興味関心を引くような室内活動等を設定している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さんの発達に合わせた個別活動を行っている。個別活動で個々のスキルを上げ、集団活動の中で力を発揮できるように組み合わせ、支援計画を作成している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には当日打ち合わせを行い、支援内容や職員の役割分担について確認している。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動内容やお子さんの対応について振り返り、療育へと活かしている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録の他に、保護者からの連絡事項等も残すようにしている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1度、またはお子さんの状態に応じて日々の記録や面談を活用し個別支援計画の作成、見直しを行っている。		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		基本活動(自立支援、創作活動、社会経験等)を組み合わせ、計画を立て支援を行っている。		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議がある際には児発管や療育担当職員が参加している。		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時や電話等で情報を共有している。		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		担当看護師、医師、保護者と連携をし、児に対して必要な支援を行っている。		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		サポートファイルで情報共有を行っている。保護者の希望に応じ、電話にてやり取りをしている。		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			該当者なし		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センターと定期的に情報交換を行ったり、機関支援の助言を受け、療育に活かしている。また、児童発達支援センター主催の研修にも参加している。		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	コロナウイルスの影響もあり、放課後等児童クラブや児童会館児童との関わる機会を設けることができなかった。	コロナウイルスの自粛も落ち着いたため、近隣の児童クラブなどへ訪問など、関わる機会を設けていくことを検討する。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		必要に応じて参加をしている。		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日頃から連絡ノートや電話、送迎時にはお子さんの様子についてやりとりを行い、共通理解をもてるようにしている。また、支援計画の見直しの時に保護者様と面談を行い、情報交換を行い支援を行っている。		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者の困り感や育児負担軽減に繋がるよう、必要に応じて助言を行っている。		
	保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		新規契約時には必ず説明をしている。	
		㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から悩みや困り感を感じられた時には助言を行っている。また、自宅、事業所と統一した支援ができるよう、支援内容を検討している。	
		㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		茶話会を開催し、保護者の方々に意見交換を行ったり交流を行うなど、連携を図っている。	
		㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		日々保護者の方たち、お子さんの気持ちを受け止めるよう心掛けている。苦情の連絡があったときの受付窓口も設けており、事業所としても速やかに対応を行えるよう体制を整えている。	
		㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログやドリーム通信、インスタ等で定期的に発信している。	

	⑳ 個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の文書などの取り扱いには十分に注意している。	
	㉑ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		おこさんの気持ちや、保護者の気持ちに寄り添い、受容・共感することを念頭に支援している。	
	㉒ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	戸外活動時には地域のお子さんと交流をする機会などはあった。地域住民を招待するなどの機会は設けることができなかった。	地域の活動に参加したり、訪問行事等を取り入れていく。
非常時等の対応	㉓ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを作成し、職員間で周知している。毎月避難訓練を実施する中で、訓練内容の見直しや整備を行っている。	
	㉔ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月想定される災害に対する避難訓練を行っている。	
	㉕ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に虐待防止研修や、虐待防止通信を発行し、正しい理解、関わり等について確認できるようにしている。	
	㉖ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		支援計画にてやむを得ない身体拘束について記載し、保護者に説明し同意を得ている。また、拘束しない対応方法を常に検討している。	
	㉗ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時にはアレルギーの有無を確認している。全職員に周知し、療育部屋に貼り、常に分かるようにしている。	
	㉘ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事案があった際は報告書を作成し、ミーティングの時間を活用し全職員に共有、再発防止に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。